



園長だより



子育ては時間がかかりますし、多忙ですよ。以前はゆっくり夫婦でテレビを見る時間があったのに、子供ができてからはそのような暇もなくなった、ということもあるのではないのでしょうか。私も昨年親になってから、子育ての大変さを経験しました。これまでは、話を聞いたりしたことがあったり、映画やドラマで何となく雰囲気をつかめていたような気がしていましたが、思っていたよりも時間と労力がかかります。もちろん、相当の報いもありますし、我が子ほどかわいい子供はいません（完全に親バカですね）。

しかし、父親よりも大変なのが母親の仕事だと思います。アメリカのある研究で、5歳～12歳の子供を持つ2000名の母親にアンケートを取ったそうです。そうしたら、母親の「仕事始め」の平均は6:23amで、「仕事終わり」の平均は8:31pmだったそうです。この時間には子供の面倒を見ることや職場に行き仕事をする時間も含まれていたそうです。そうすると、一日の仕事の平均は14時間になり、一週間の平均の「勤務」時間は98時間となります。そして、なんとこれはフルタイムの仕事の2つ半もしていることと同じなのです。フルタイムの仕事が週40時間、月160時間だとしたら、残業に相当する時間が232時間になるのです！とんでもない数字ですね。本当に世界の母親に「お疲れ様です」といわずにはいられないですね。

母親の仕事には終わりがありません。記事では、母親はどんな助けでも必要としているのです、と書かれておりました。また、「これなしではやっていけないという物は何ですか？」という質問には、コーヒー、昼寝、効果的なしかり声、ベビーシッターや家族の助け、Netflix（映画、TVドラマのストリーミングサービス）、おしりふき、ドライブスルーの食事、おもちゃ、iPad、健康的なお菓子、などが上がったそうです。

別の記事で「育児中にママがしてもらえると嬉しいこと」というリストがありました。そのなかで、「生活の変わらないパパをうらやましく思うママの気持ちを理解する」「ママの愚痴を黙って聞く」、「自分のことは自分です」「自分の休日をママの休日にする」「赤ちゃんのお世話を手伝うことが難しいパパは、率先してママのケアを心掛ける」などがありました。

今月は母の日がありますが、私たちの母親に、また（夫であれば）妻に、日ごろの仕事の労をねぎらう感謝の言葉をかけたいですね。また、感謝の気持ちを花束や、プレゼントで示したり、マッサージをしてあげたり、あるいは子供の面倒を見ている間に出かけてもらって自分の時間を過ごしてもらったりするのも、いいかもしれませんね。

2018年4月27日

石川三育保育園 園長 ミラー・ジョエル

記事の元の引用はここ↓から見られます

<https://nypost.com/2018/03/17/being-a-mom-is-the-equivalent-of-2-5-full-time-jobs/>（英文）

<http://babynet.jp/3914.html>（日本語）